以上ノ如ク拒絶セルヲ以テ職工側ハ意ク漸ク力十分ニシテ辞去セリ職工側ハ昨年六月ノ争議当時ニ於ケル調停者数ヲ訪ル総代組ト将来ノ上ニ斯許ヲ提起スルヤ否ヤヲ謀スル趣ナリ

当日工場鋳打工場ニ於ケル解雇者ヲ自ラ日給ニテ支給スルヤ債ヲ自収ヲ支給スルヤニツキ見解ヲ異ニシ當該トナリ居タリシモ最近職工側ヨリ前モ張ヲ撤リ日給一人四円ヲ支給セラレタキ旨ヲ申出テ会社ト協商中ナルガ多分一両日中ニ解決ニモナリ円満解決ヲ見ルル模様ナリ

不了受

大正十年二月廿八日　大阪府知事

小野鉄工所職工争議

一、二月廿七日大体解決

一、職工側ノ要求書ハ会社ニ於テ拒絶セラレ、争議前後ニ回ニ亘ル総解雇セラレ職工ニ対シテハ会社ヨリ従来解雇者割当ヲ支給シ来ルモ職工側ハ臨時工ヲモ支給セヨト迫リ結局各個人ノ勤続ニ依リ相当ノ手当ヲ、其ノ年数ヲ支給スルコトナレタリ

一、会社ハ右ナ人ノ給ノ外ニ男工四十七名ヲ大七ニ解雇スル此ノ解雇ニ付テモ勤続年数ヲ起算在ニ付給料アリ（会社ハ大正七年中労働組合ニ置リタル為職工ノ入職年月ヲ明瞭ナラザルニ由ル